



資料提供
令和3年2月8日
課名：がん対策課
担当者：豊田
内線：3090
直通電話：082-513-3093

Team初の取組！両立支援に向けた環境づくりをバックアップ！

各社オリジナル！がん治療と仕事の 「両立支援宣言カード」の作成について

1 趣旨

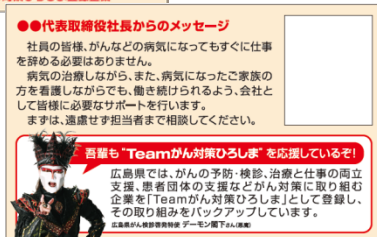
県と「Teamがん対策ひろしま」登録企業は、取組の一つとして「がん治療と仕事の両立支援」の体制整備を行っており、令和2年度からは、「両立支援に関する相談窓口(担当者)を社内

に設置・周知する」という目標を新たに設定しています。
この度、**初の試み**として、希望する登録企業オリジナルの「両立支援宣言カード」を作成・社員に配布します。



2 「両立支援宣言カード」のポイント

※実際のサイズは縦 54mm×横 86mm



【表面】

・企業名やロゴマークを入れ、社内の相談窓口と連絡先を大きく明記し、**各社オリジナル**で作成。

【裏面】

「がんになってもすぐに会社を辞める必要はありません。」「会社として必要なサポートを行います。」「まずは担当者にご遠慮なくご相談ください。」などのメッセージを、**登録企業の代表者や担当部署の責任者**などから**直接発信**し、社員の方に強力に周知。

※配布の際に、別紙「啓発チラシ」を併せて配布し、社員の方に両立支援について知識を深めていただき、自分の事として考えていただくきっかけを提供します。

3 作成企業数等

登録企業111社のうち、**39社**から作成希望があり、約**8,500枚**を配布予定。

取材のお願い

本取組に関する代表者・担当者の思いや、社内における実際の活用事例などについて、**取材可能な企業を事前に確認**し、次のページに挙げています。

2人に1人ががんになる今、**県内でも年間5千人を超える就労世代の方ががん**になっています。「がん治療と仕事の両立支援」の取組を県内企業に広く波及させるために、ぜひ取材をいただきますようお願いいたします。

4 取材可能企業

取材いただける場合、各企業の担当者をご紹介しますので、がん対策課までご連絡ください。

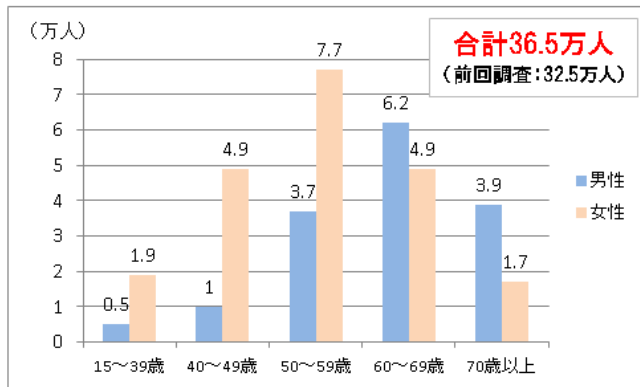
企業名	所在地	業種	県内従業員数	メッセージ発信者の表記	メッセージ
株式会社ベルアーヂュ	広島市安芸区	福祉事業	15名	長谷川代表	社員の皆様、がんなどの病気になってもすぐに仕事を辞める必要はありません。病気の治療をしながら、また、病気になったご家族の方を看護しながらでも、働き続けられるよう、会社として皆様に必要なサポートを行います。まずは、遠慮せず担当者まで相談してください。
株式会社ポップジャパン	広島市安佐南区	のぼりの製造等	44名	代表取締役社長	
ラックス建設株式会社	福山市	建築物リノベーション	15名	山田さん (※代表取締役)	
株式会社ミクセル	広島市中区	研究支援ヘルスケア	10名	代表者	我が社の経営理念のメインテーマである”大切な人の笑顔のために”のとおり、みなさんやご家族が万が一癌になったときにも働き続けられるよう会社として必要なサポートをさせていただきます。まずは遠慮せず相談してください。
三栄産業株式会社	広島市中区	ファシリテイマネジメント 設備管理	154名	三栄グループ代表 米山 真和	誰でも病気になります。そして働くみなさんは、大切な存在です。ですから、がんなどの病気になっても、辞めることを考えないでください。まずは、働き続けるための方法を一緒に考えましょう。これはご家族の方を看病する場合も同様です。大変だろうと思いますが、なにはともあれ、まずは気軽に担当者まで連絡をください。
株式会社福山臨床検査センター	福山市	受託臨床検査 医薬品販売	290名	代表取締役	人の健康を日々支えておられる従業員の皆さん。がんなどの病気にかかっても仕事を辞める必要はありません。病気の治療をしながらでも働き続けられるよう、会社として全力でサポートを行います。まずは、総務部まで遠慮なくご相談ください。
ツネイシカムテックス株式会社	福山市	産業廃棄物処理業	118名	曾我社長	がんは2～3人に一人がなる病気です。がんになってもすぐに仕事を辞める必要はありません。社員の皆さんには会社でがん保険をかけていて、万一の時のサポートができるように備えています。保険とは別に、ご家族の介護が必要となった場合の休暇制度、病気療養の為の傷病制度もあります。不安に思う方はご相談下さい。
株式会社東洋広告	三次市	印刷デザイン	4名	社長	社員の皆様、がんなどの病気はいつ何時訪れるか分かりません。自分に限らずご家族も含め、会社としては全面的にサポートを行います。気になることは遠慮なく相談して下さい。
株式会社松浦造船所	豊田郡大崎上島町	造船	34名	代表取締役	社員の皆様、がんなどの病気になってもすぐに仕事を辞める必要はありません。病気の治療をしながら、働き続けられるよう会社として皆様に必要なサポートを行います。まずは、遠慮せずに担当者まで相談して下さい。

★上記企業以外にも、取材に協力いただける企業があります。調整をいたしますので、ご遠慮なくがん対策課までお問い合わせください。

株式会社メンテックワールド（東広島市）、株式会社リマックプラス（広島市安佐北区）、社会保険労務士法人たんぼぼ会（広島市安佐南区）、株式会社ウメソー（広島市西区）、淀鋼商事株式会社（呉市）、株式会社熊平製作所（広島市南区）、株式会社ジェイ・エム・エス（広島市中区）、広島エフエム放送株式会社（広島市南区）、マイライフ株式会社（呉市）、株式会社アンフィニ広島（広島市南区）、株式会社アメニティライフ（広島市南区）、株式会社ティーユーロジネット（安芸郡坂町）、株式会社広島県リースタオル（広島市南区）

5 参考データ

仕事を持ちながら悪性新生物（がん）により通院している方



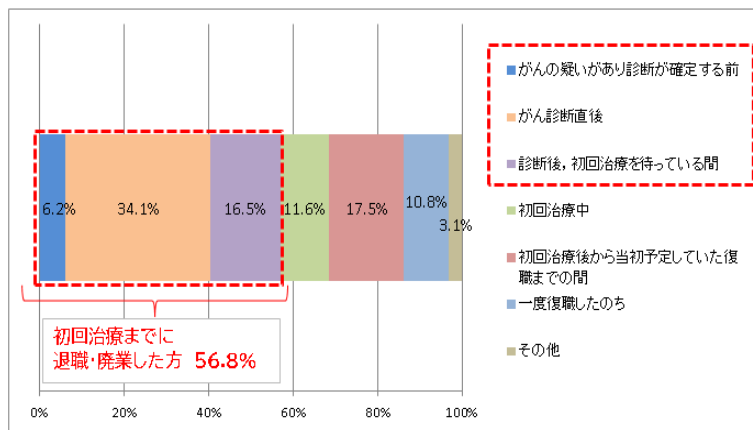
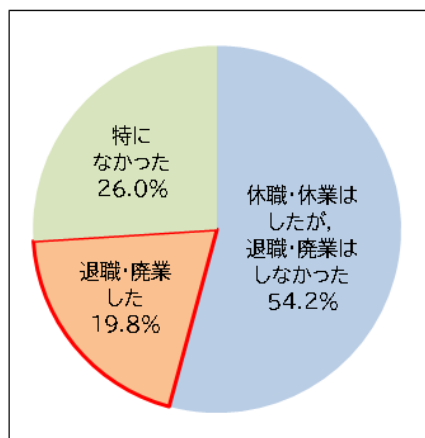
※厚生労働省「平成 28 年国民生活基礎調査」（熊本県を除く）を基に同省健康局にて特別集計したもの

仕事をしながら、がん治療のために通院する方は全国に約 36.5 万人いると言われています。

また、2人に1人ががんになる今、**県でも年間約 5,500 人の就労世代の方ががんになる**など、がんは決して他人事ではありません。（啓発チラシ参照）

がんになっても安心して働ける職場づくりを行い、いざという時に備えておくことが大切です。

診断時の仕事へのがん治療による影響（左）と退職等のタイミング（右）



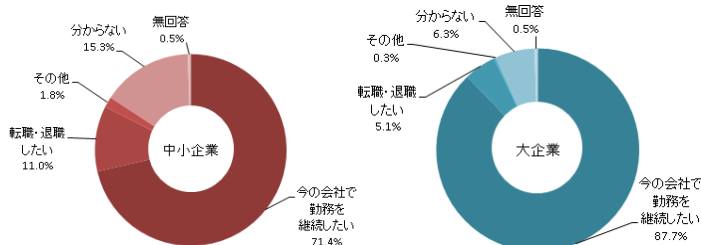
※厚生労働省委託事業「平成 30 年度患者体験調査報告書」（国立がん研究センターがん対策情報センター）より抜粋

※左は、「診断時、収入のある仕事をしていた」と回答したがん患者を対象。右は、「退職・廃業した」（19.8%）と回答したがん患者を対象。

がんを診断を受けて退職・廃業した人は就労者の 19.8%。そのうち、初回治療までに退職・廃業した人は 56.8% となっており、**診断時から治療と仕事の両立について遠慮なく相談できる体制づくりが、医療機関や職場において求められます。**

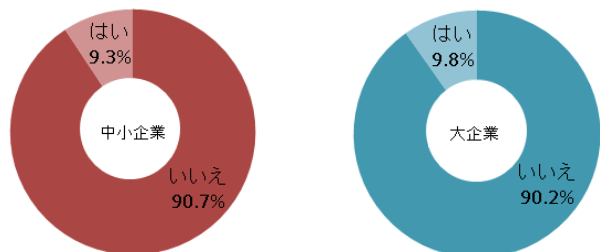
相談窓口の設置及び周知の必要性

●もし今後がんにかかった場合の勤務の継続について



※「がんになっても安心して働ける職場づくりガイドブック」（国立研究開発法人国立がん研究センター）より抜粋
 【調査対象者】日経 BP コンサルティングの調査モニター（有職者）
 【有効回答数】299 人以下の中小企業社員：419 件
 300 人以上の大企業社員：624 件

●がんなどにかかった場合の相談窓口が社内で周知されていて、社員の多くがそれを知っている。



中小企業で 7 割以上、大企業で 9 割近くの方が、がんになっても今の会社での勤務継続を希望する一方、社内の相談窓口についてはよく知らない方が、いずれも 9 割を超えています。

もしがんになっても、**すぐに仕事を辞めるのではなく、会社に相談して必要なサポートを伝えることで、会社・社員双方にとって望まない離職を防ぐことができます。**